

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年11月末時点）

農業を担う者を募り地域全体で集約化を進める				鹿児島県喜界町旧阿伝小校区地区	
-----------------------	--	--	--	-----------------	--

農業を担う者数 (うち担い手)	55経営体 (21経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	122ha (106ha)	主な農畜産物	サトウキビ・飼料作物
農業地域類型	平地農業地域	遊休農地	—ha	現状の集積率 (目標)	67.5% (78.3%)

地域の現状と課題		将来の地域農業の方向性	
- 喜界町は北緯28度20分、東経130度00分の地点にあって、鹿児島市から南に380km、奄美市から東に69kmの洋上に位置。 - 旧阿伝小校区は町の東側に位置し、基盤整備が行われた畑地でさとうきびやを飼料作物を中心とした生産が行われている。		- 基幹作物であるサトウキビの生産安定を基本として、野菜・果樹といった農作物の産地拡大を図るとともに、収益性の高い新規作物の導入を目標とする。 - 阿伝集落は認定農業者5名、基本構想水準到達者2名に、花良治集落は認定農業者3名、認定新規就農者1名に集約化を進めつつ、原則として地域内より希望する認定農業者や新規認定就農者を受入れ、さらに農業を担う者を募り地域全体で利用する	



目標地図案(凡例抜き)

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
- 目標地図の素案の作成（意向調査における調査項目、素案としてどこまで作り込むか等） - 協議の場の開催に係る周知のやり方 - 協議の場の回し方及び参集範囲 - 協議の場における意見集約（農業者からの意見の引き出し方）	- 区域内の耕作状況等から現状地図が目標地図となること見込まれたため、負担は大きくなかった。 - 地域計画面（文面部分）は、実質化した人・農地プランから転記。 - 目標地図の素案は、農委が行ったアンケートや耕作者への個別訪問結果を踏まえ、現状を航空写真及び地形図に落とし込む形で作成。 - 地区がコンパクトで日ごろからまとまっていたことから、地域への根回し等は行わずに協議の場をセット。 - 協議の場の開催は、町のホームページと農委巡回で関係者に周知（関係者からさらに声掛け）。協議の場には農業者、製糖工場関係者、町、農委、県、農政局及び県拠点に参加。 - 協議の場では、町が作成した地域計画面（文面部分）の説明と、目標地図の素案を使って、農委が把握できなかった農地の受け手を確認。 - 地域計画面の策定では、地域で十分な合意が得られたため、公告前の住民説明会は行わない予定。 - 町は、さとうきびの植付がはじまるR5.11月末までには、モデル地区を含めた町内全9地区の地域計画の策定を終えたい考え。（12月13日全9地区終了） - 令和6年3月に地域計画策定



目標地図の素案(航空写真)



協議の場の様子(受け手確認)